
2010 年国勢調査に基づく
相模原市の将来人口推計

2013 年 1 月

SURV さがみはら都市みらい研究所

～ 目 次 ～

1	将来人口推計実施の背景	
(1)	社会情勢の変化	3
(2)	長期推計の必要性	3
2	人口の推移	
(1)	人口のピークとその後の人口減少率	4
(2)	急速な高齢化	5
3	社会増減の推移	
(1)	移動率	6
(2)	開発等の要因による転入上乗せ	6
(3)	社会増減の推移	7
4	自然増減の推移	
(1)	出生率	7
(2)	生残率	8
(3)	自然増減の推移	9
5	推計結果一覧	
		10

1 将来人口推計実施の背景

(1) 社会情勢の変化

「新・相模原市総合計画」策定時に使用した 2005 年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計結果によると、2010 年の相模原市の人口は 712,409 人になるものと推計していた。しかしながら、2010 年国勢調査結果によると、2010 年 10 月 1 日時点における相模原市の人口は 717,544 人となっており、5,135 人の上ブレが生じていることが明らかとなった。

この上ブレの主な要因は、死亡率の低下と出生率の向上により、自然増が推計より多かったことが考えられる。逆に、転入者数から転出者数を差し引いた社会増減は、2010 年以降やや減少傾向で推移している。

このように、社会情勢の変化により将来人口推計を行うにあたって重要な「出生」、「死亡」、「移動」の 3 つの要素が変化していることを受け、さがみはら都市みらい研究所では、約 5 年ぶりに最新データに基づく将来人口推計を行った。

(2) 長期推計の必要性

2009 年度に策定した「新・相模原市総合計画」では、2010 年から 2028 年までの 18 年間の推計を行った。この推計では、相模原市の人口が、今後微増から微減に転じること、少子高齢化が進むことなどが読み取れるが、一方で 2010 年時点の人口よりも 2028 年の人口のほうが多いなど、人口減少期の到来という印象は受けない。

また、市営斎場の適正な規模等を検討するにあたり、死亡数のピーク時期がいつ頃になるのか、またその人数はどの程度となるのかなど、2028 年以降について新たに推計を行わなければわからないデータが求められている。

既に国、都道府県、他の政令指定都市などでは、より長期の推計を行い、人口減少期における行政運営の在り方を研究している例もあり、相模原市においても適切な政策立案のためには長期の推計を行う必要があるとの認識から、2010 年から 2060 年までの 50 年間の将来人口推計を行った。

和暦-西暦一覧

和暦	西暦	和暦	西暦	和暦	西暦	和暦	西暦	和暦	西暦
昭和36	1961	昭和56	1981	平成13	2001	平成33	2021	平成53	2041
37	1962	57	1982	14	2002	34	2022	54	2042
38	1963	58	1983	15	2003	35	2023	55	2043
39	1964	59	1984	16	2004	36	2024	56	2044
40	1965	60	1985	17	2005	37	2025	57	2045
41	1966	61	1986	18	2006	38	2026	58	2046
42	1967	62	1987	19	2007	39	2027	59	2047
43	1968	63	1988	20	2008	40	2028	60	2048
44	1969	平成元	1989	21	2009	41	2029	61	2049
45	1970	2	1990	22	2010	42	2030	62	2050
46	1971	3	1991	23	2011	43	2031	63	2051
47	1972	4	1992	24	2012	44	2032	64	2052
48	1973	5	1993	25	2013	45	2033	65	2053
49	1974	6	1994	26	2014	46	2034	66	2054
50	1975	7	1995	27	2015	47	2035	67	2055
51	1976	8	1996	28	2016	48	2036	68	2056
52	1977	9	1997	29	2017	49	2037	69	2057
53	1978	10	1998	30	2018	50	2038	70	2058
54	1979	11	1999	31	2019	51	2039	71	2059
55	1980	12	2000	32	2020	52	2040	72	2060

2 人口の推移

(1) 人口のピークとその後の人口減少率

日本の人口は、2010 年をピークに既に減少局面にあり、50 年後の 2060 年にはピーク時の 2/3 程度である約 8674 万人まで減少すると推計されている。

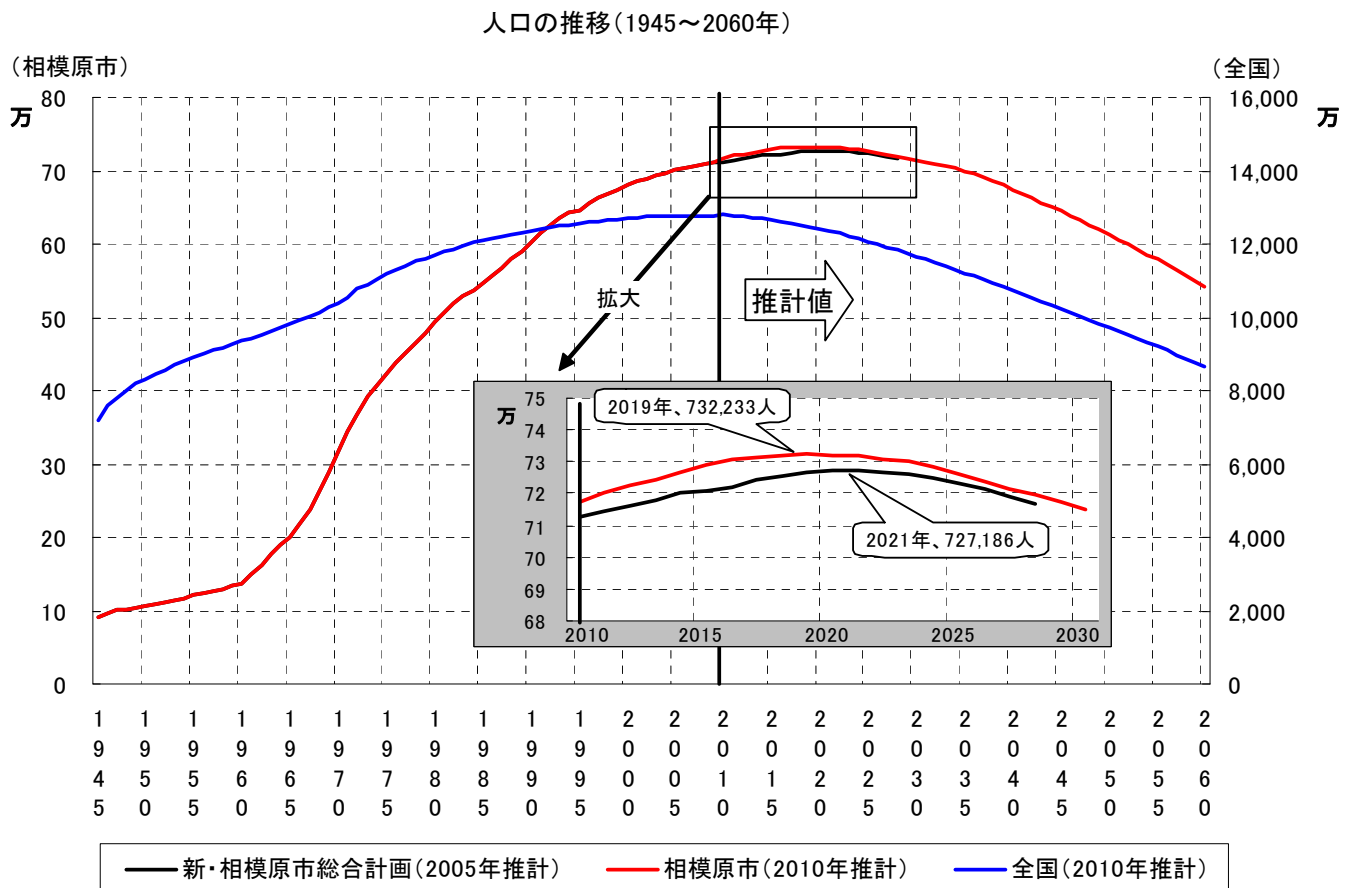
これに対し、相模原市の人口は、2019 年までわずかながら増加を続け、ピーク時で 73 万人を超えた後に減少に転じ、2060 年にはピーク時の 3/4 程度である約 54 万人まで減少すると推計した。

「新・相模原市総合計画」策定時に実施した推計と比較すると、人口ピークは 2 年早い 2019 年となり、ピーク時の人口は約 5,000 人増加する結果となった。

	2010 年 (国勢調査)	人口ピーク (推計値)	2060 年 (推計値)	人口減少 2010→2060
相模原市推計	717,544 人	732,233 人 2019 年	542,692 人	▲174,852 人 ▲24.4%
全国推計	128,057,352 人	128,057,352 人 2010 年	86,736,765 人	▲41,320,587 人 ▲32.3%

※全国の推計は、国立社会保障・人口問題研究所による（2011 年 1 月推計）。

※新・相模原市総合計画における人口ピークは 2021 年に 727,186 人。

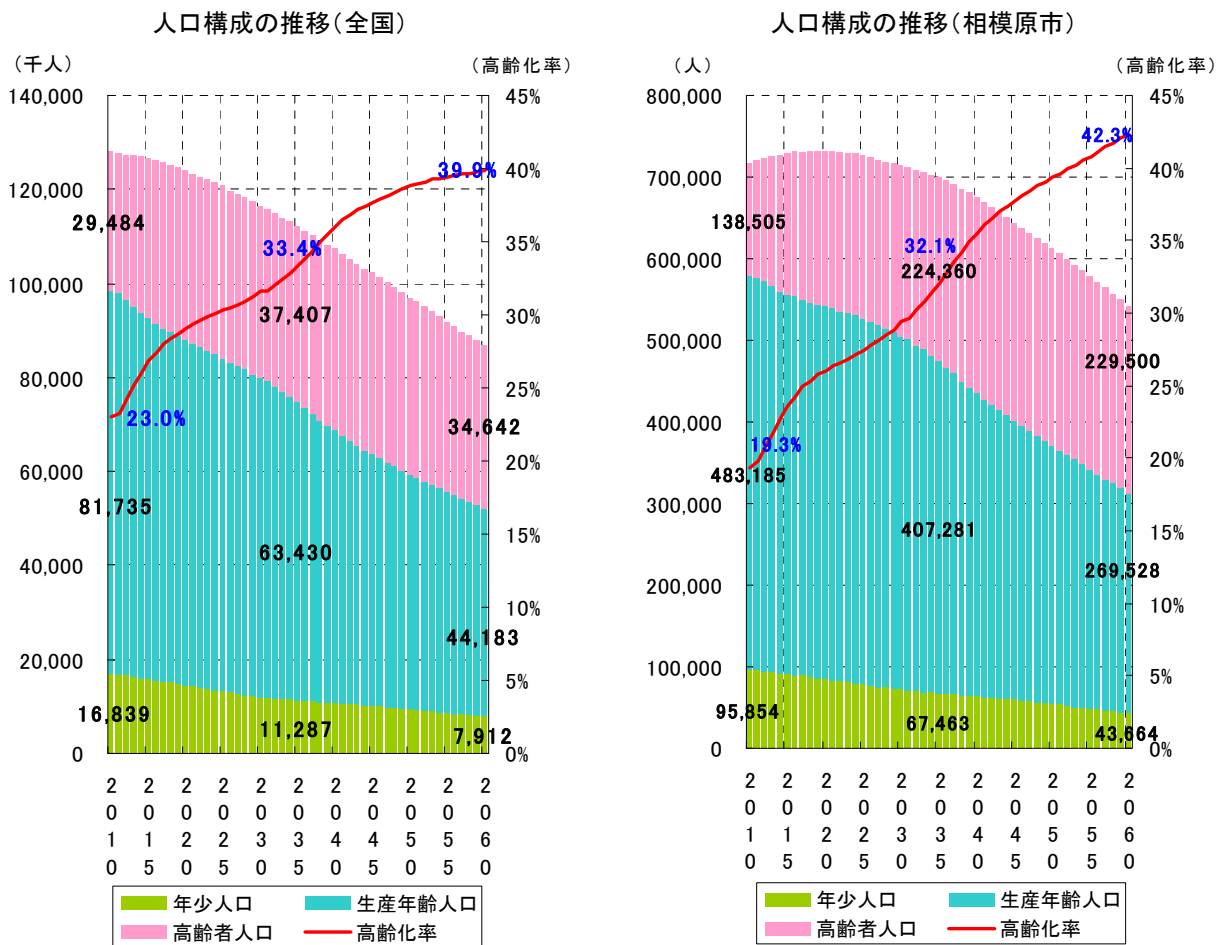


（２）急速な高齢化

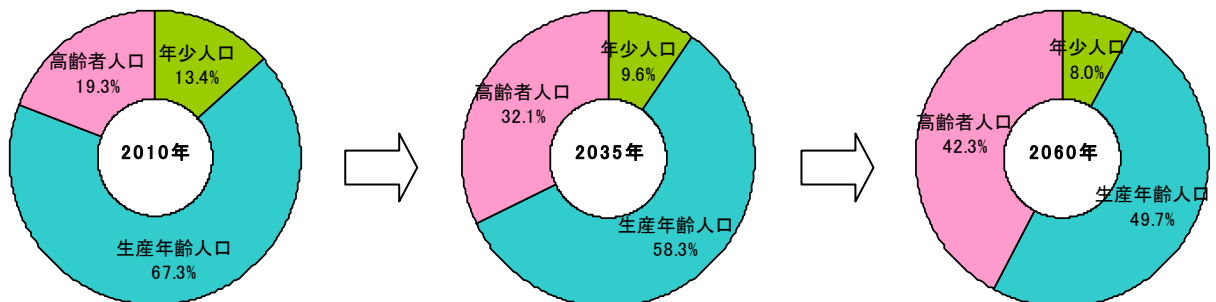
相模原市においては、2010年から2035年までの25年間では、極端な人口減少は起こらないが、この期間は「高齢者急増期」であり、高齢化率は10ポイント以上上昇する。

次の2036年から2060年までの25年間は、高齢者人口は大きな増減なく推移するものの、生産年齢人口が急減する「人口急減期」となる。

全国では、既に生産年齢人口の減少が始まっているが、相模原市を含む東京近郊では、1971年から1974年の第二次ベビーブームに生まれた世代、いわゆる団塊ジュニア世代の比率が全国に対して高いため「人口急減期」の到来がやや先送りされている状況にある。とはいえ、50年後の2060年には団塊ジュニア世代も高齢者となっており、相模原市の高齢化率は全国を上回ることになる。



人口構成割合の推移（相模原市）



3 社会増減の推移

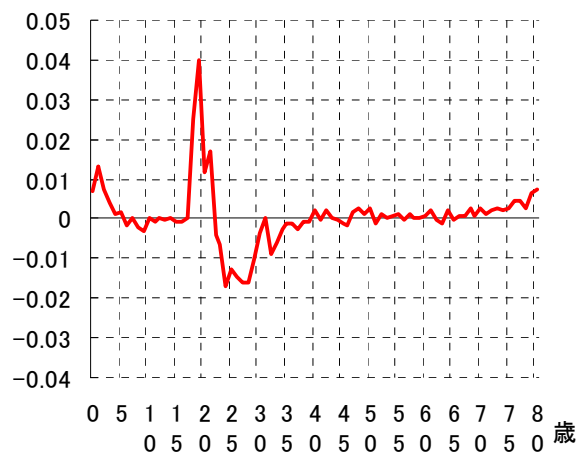
(1) 移動率

本推計においては、2007 年から 2011 年までの 5 年間の年齢別移動数を平均化し、右グラフのとおり移動率を設定した。

相模原市の年齢別移動率の特徴は、18 歳から 22 歳までの大学生世代の大幅な転入超過と、20 歳台後半から 30 歳代までの就職世代、住宅購入世代の転出超過である。(2011 相模原市の人口問題に関する調査研究) また、近年は 70 歳以上の高齢者の転入超過も目立っている。

これまでの移動率の推移を見ると、1990 年頃は大幅な転入超過であったが、バブル崩壊以降、若年世代を中心とした人口の都心回帰の傾向がみられ、現在ではかろうじて転入超過を維持しているという状況である。この現状を踏まえ、年齢別移動率を毎年 1% ずつ減衰（例えば、2010 年に 0.04 だった場合、2011 には 0.0396 となる。）させて各年の移動率とした。

年齢別移動率(2010)



(2) 開発等の要因による転入上乗せ

土地区画整理事業や再開発、リニア中央新幹線の新駅設置など、将来的に人口増加に繋がる要因を個別に調査し、市外からの転入人口として期待する値として、合計 18,740 人を転入見込みとして上乗せして推計した。

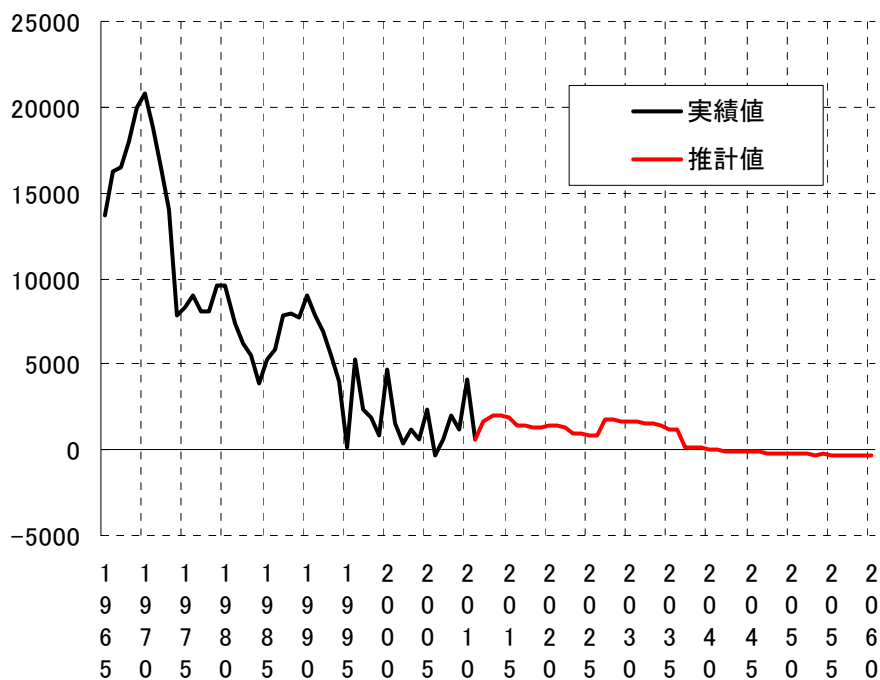
No	事業名	上乗せ人口	上乗せ期間
1	当麻地区土地区画整理事業	2,600 人	2013～2022 年
2	麻溝台・新磯野地区整備推進事業	3,600 人	2015～2034 年
3	川尻大島界土地区画整理事業	40 人	2013、2014 年
4	(仮称)城山インターチェンジ周辺新拠点まちづくり事業	450 人	2020～2024 年
5	相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業	450 人	2012、2013 年
6	小田急相模原駅北口 B 地区第一種市街地再開発事業	200 人	2013、2014 年
7	上鶴間本町 3 丁目マンション計画	250 人	2012、2013 年
8	淵野辺 1 丁目マンション計画	300 人	2014、2015 年
9	淵野辺 2 丁目マンション計画	250 人	2013、2014 年
10	鹿沼台 1 丁目マンション計画	400 人	2014、2015 年
11	下九沢戸建分譲計画	200 人	2014、2015 年
12	広域交流拠点整備事業	10,000 人	2027～2036 年

(3) 社会増減の推移

相模原市のこれまでの社会増減の推移を見ると、都心の人口が郊外へ流出した 1970 年頃には年間 20,000 人を超える転入超過があったが、バブル崩壊以降の都心回帰傾向の中で、近年は年間 5,000 人未満の転入超過にとどまっている（転出超過の年もある）。

開発等の要因による転入上乗せに記載した事業などによる転入増のため、当分の間は年間 2,000 人程度の転入超過を見込んでいるが、2040 年頃には転出超過に転じると推計した。なお、2027～2036 年にかけて一時的に転入超過が顕著になっているのは、リニア中央新幹線の新駅設置に伴う転入上乗せ分である。

相模原市の社会増減の推移



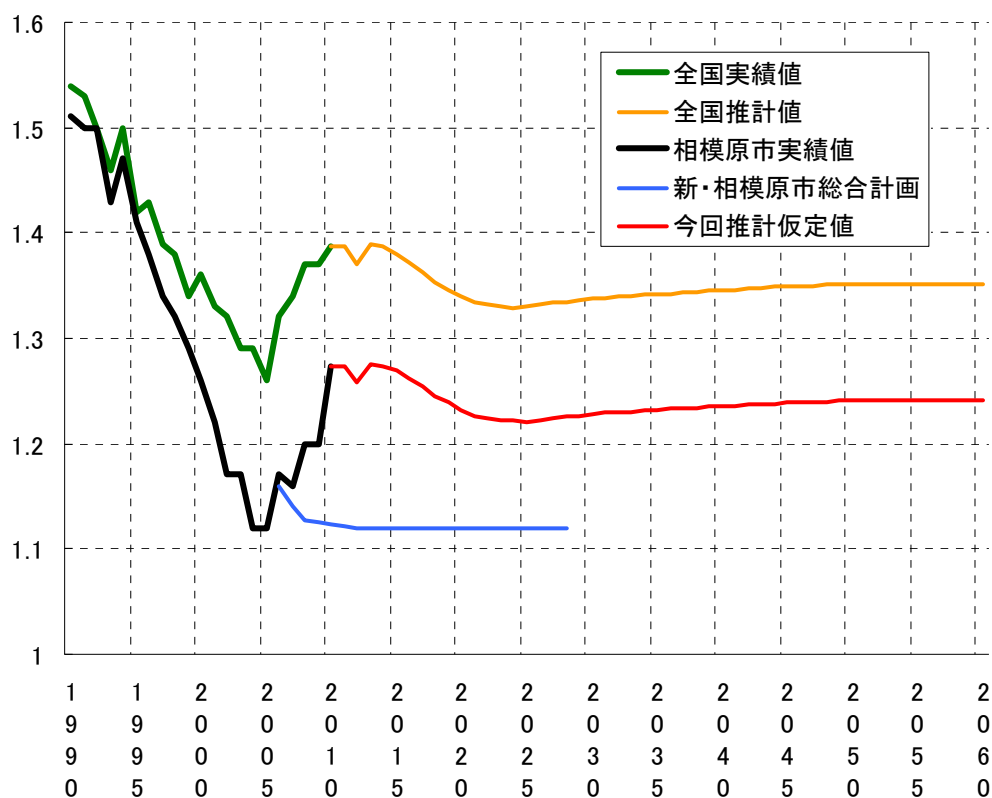
4 自然増減の推移

(1) 出生率

日本の合計特殊出生率は、低下の一途をたどり、2005 年には過去最低の 1.26 となった。一方、相模原市の合計特殊出生率は、都市部であることや学生が多いこと等の理由から、全国に比べてやや低い数値で推移してきた。2005 年時点を基準とした「新・相模原市総合計画」策定時の推計においても、出生率は引き続き低調に推移するものと想定していた。

しかし、2005 年以降、合計特殊出生率はやや回復の傾向を示しており、「新・相模原市総合計画」策定時の推計を上回る数の出生が続いている。そこで、本推計では、出生率の仮定値をやや上方修正し、その推移の傾向は全国の推計値（国立社会保障・人口問題研究所仮定値）に沿ったものとした。

合計特殊出生率の推移(全国－相模原市)



(2) 生残率

生残率とは、ある年齢の人口が1歳分年齢を重ねる間に生き残る確率のことである。2010年男性の場合を例にとると、0歳の死亡率は0.00246、生残率は0.99754(死亡率+生残率=1)なので、0歳100,000人のうち、1歳になるまでの間に246人が死亡し、99,754人が生残する計算となる。次に、1歳の死亡率は0.00036、生残率は0.99964なので、1歳99,754人のうち、2歳になるまでの間に36人が死亡し、99,718人が生残する計算となる。このような死亡率・生残率や生残人口などの状況を105歳まで示したものが「生命表」である。「生命表」は、厚生労働省が5年に一度作成しており、この「生命表」を基に将来人口推計を行うため国立社会保障・人口問題研究所が作成しているのが「将来生命表」である。

生残率は、医療水準、交通事故死や自殺の件数などにより変化するものであるが、日本国内においては地域による差が大きいいため、相模原市独自の仮定値を算定せず、「平成22年国勢調査による日本の将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所2011年2月推計)に用いられた「将来生命表」をそのまま使用した。

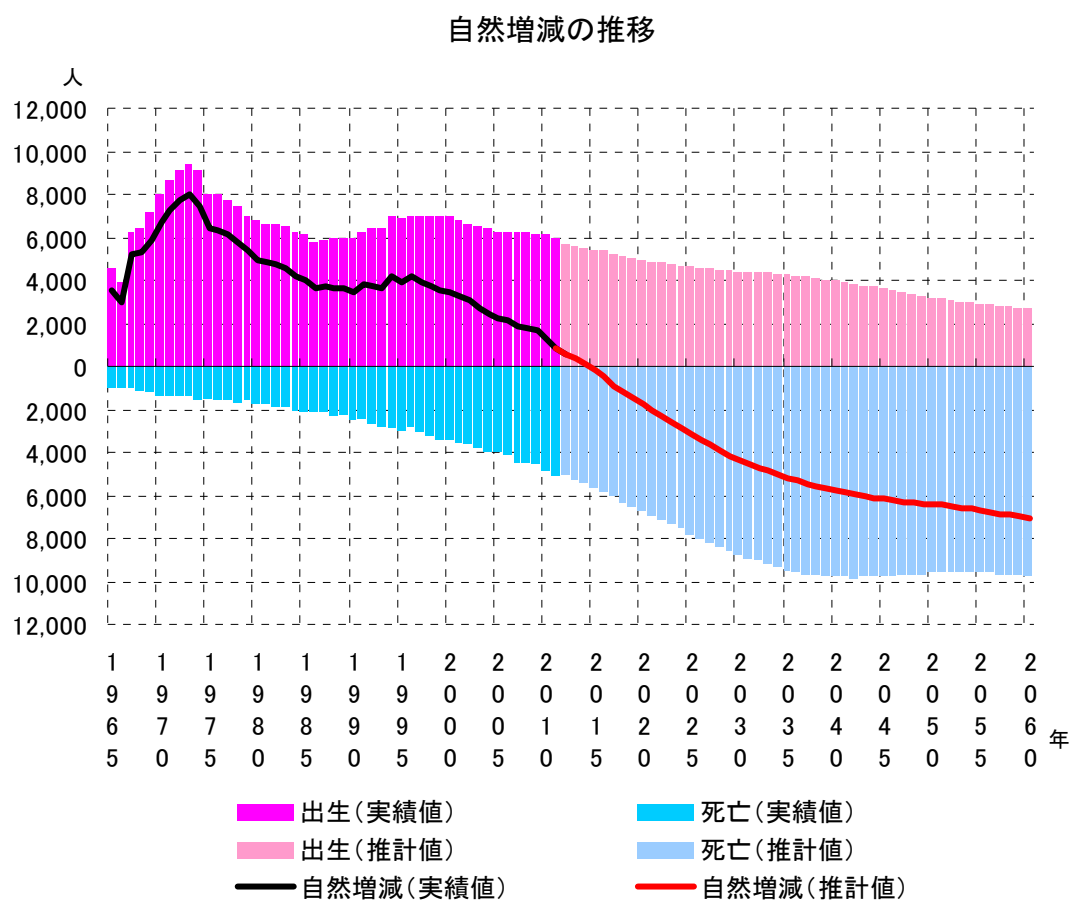
なお、「新・相模原市総合計画」策定時の推計に使用した「将来生命表」と比較すると、若干ではあるが長寿傾向に修正がなされ、死亡率が低下、生残率が上昇している。

(3) 自然増減の推移

相模原市の出生数は、現在のところ年間 6,000 人程度で横ばいに推移しているが、2012 年以降徐々に減少が始まり、2040 年頃には年間 4,000 人程度に、2060 年には現在の約半数の 3,000 人程度になる。

一方、死亡数は既に急激な増加が始まっており、2025 年には年間 8,000 人程度に、2040 年には年間 10,000 人程度にまで増加する。2045 年頃からは高齢者人口も減少を始めるため、死亡数も 10,000 人程度がピークになるものと推測される。

出生数から死亡数を引いた自然増減は、現在の 1,000 人程度の自然増から 2015 年頃には自然減に転じ、2040 年頃には年間 6,000 人程度の自然減となる。



5 推計結果一覧

年		総人口	年少人口	生産年齢人口	高齢者人口	年少人口割合	生産年齢人口割合	高齢者人口割合	出生率	出生数	死亡数	自然増減	社会増減	男移動	女移動
平成22	2010	717544	95854	483185	138505	13.4%	67.3%	19.3%	1.27	5985	4723	1262	1547	662	885
23	2011	720353	95087	482754	142512	13.2%	67.0%	19.8%	1.27	5838	5137	701	1302	484	818
24	2012	722356	94121	478341	149894	13.0%	66.2%	20.8%	1.26	5644	5068	576	1659	695	964
25	2013	724591	93098	473490	158003	12.8%	65.3%	21.8%	1.28	5611	5258	353	2000	865	1135
26	2014	726944	92012	469274	165658	12.7%	64.6%	22.8%	1.27	5494	5438	56	2035	882	1153
27	2015	729035	91050	465956	172029	12.5%	63.9%	23.6%	1.27	5422	5650	-228	1881	798	1083
28	2016	730688	89806	463349	177533	12.3%	63.4%	24.3%	1.27	5357	5867	-510	1400	554	846
29	2017	731578	88592	460784	182202	12.1%	63.0%	24.9%	1.25	5208	6092	-884	1376	533	843
30	2018	732070	87431	458965	185674	11.9%	62.7%	25.4%	1.25	5120	6294	-1174	1337	502	835
31	2019	732233	86353	457376	188504	11.8%	62.5%	25.7%	1.24	5043	6517	-1474	1318	485	833
32	2020	732077	85322	455895	190860	11.7%	62.3%	26.1%	1.23	4956	6717	-1761	1382	534	848
33	2021	731698	83993	454627	193078	11.5%	62.1%	26.4%	1.23	4883	6952	-2069	1365	521	844
34	2022	730994	82635	453738	194621	11.3%	62.1%	26.6%	1.22	4809	7142	-2333	1290	457	833
35	2023	729951	81217	452559	196175	11.1%	62.0%	26.9%	1.22	4748	7377	-2629	992	303	689
36	2024	728314	79705	450939	197670	10.9%	61.9%	27.1%	1.22	4689	7579	-2890	940	267	673
37	2025	726364	78174	448854	199336	10.8%	61.8%	27.4%	1.22	4627	7798	-3171	833	222	611
38	2026	724026	76698	446461	200867	10.6%	61.7%	27.7%	1.22	4576	7992	-3416	812	212	600
39	2027	721422	75317	443531	202574	10.4%	61.5%	28.1%	1.22	4515	8179	-3664	1765	689	1076
40	2028	719523	74156	440821	204546	10.3%	61.3%	28.4%	1.23	4475	8380	-3905	1716	661	1055
41	2029	717334	72984	437515	206835	10.2%	61.0%	28.8%	1.23	4446	8591	-4145	1701	654	1047
42	2030	714890	71911	433088	209891	10.1%	60.6%	29.4%	1.23	4408	8767	-4359	1643	619	1024
43	2031	712174	70888	430211	211075	10.0%	60.4%	29.6%	1.23	4374	8940	-4566	1612	604	1008
44	2032	709220	69901	424886	214433	9.9%	59.9%	30.2%	1.23	4347	9061	-4714	1534	558	976
45	2033	706040	69030	419632	217378	9.8%	59.4%	30.8%	1.23	4326	9190	-4864	1485	540	945
46	2034	702661	68223	413537	220901	9.7%	58.9%	31.4%	1.23	4292	9309	-5017	1460	528	932
47	2035	699104	67463	407281	224360	9.6%	58.3%	32.1%	1.23	4260	9453	-5193	1237	410	827
48	2036	695148	66738	400497	227913	9.6%	57.6%	32.8%	1.23	4220	9553	-5333	1201	395	806
49	2037	691016	66039	393669	231308	9.6%	57.0%	33.5%	1.23	4181	9637	-5456	157	-134	291
50	2038	685717	65266	385607	234844	9.5%	56.2%	34.2%	1.23	4112	9687	-5575	83	-178	261
51	2039	680225	64491	378066	237668	9.5%	55.6%	34.9%	1.23	4044	9742	-5698	88	-175	263
52	2040	674615	63707	371190	239718	9.4%	55.0%	35.5%	1.24	3973	9772	-5799	33	-206	239
53	2041	668849	62914	364741	241194	9.4%	54.5%	36.1%	1.24	3897	9791	-5894	-5	-222	217
54	2042	662950	62088	358606	242256	9.4%	54.1%	36.5%	1.24	3837	9822	-5985	-56	-244	188
55	2043	656909	61260	352596	243053	9.3%	53.7%	37.0%	1.24	3756	9809	-6053	-76	-245	169
56	2044	650780	60401	346943	243436	9.3%	53.3%	37.4%	1.24	3675	9781	-6106	-102	-258	156
57	2045	644572	59494	341580	243498	9.2%	53.0%	37.8%	1.24	3587	9763	-6176	-124	-272	148
58	2046	638272	58545	336583	243144	9.2%	52.7%	38.1%	1.24	3506	9747	-6241	-112	-274	162
59	2047	631919	57563	331555	242801	9.1%	52.5%	38.4%	1.24	3417	9698	-6281	-169	-298	129
60	2048	625469	56524	326627	242318	9.0%	52.2%	38.7%	1.24	3355	9638	-6283	-178	-310	132
61	2049	619008	55459	321667	241882	9.0%	52.0%	39.1%	1.24	3262	9635	-6373	-209	-320	111
62	2050	612426	54359	316858	241209	8.9%	51.7%	39.4%	1.24	3201	9581	-6380	-216	-331	115
63	2051	605830	53248	312290	240292	8.8%	51.5%	39.7%	1.24	3134	9554	-6420	-260	-349	89
64	2052	599150	52130	307808	239212	8.7%	51.4%	39.9%	1.24	3056	9600	-6544	-252	-342	90
65	2053	592354	50987	303174	238193	8.6%	51.2%	40.2%	1.24	2999	9617	-6618	-285	-351	66
66	2054	585451	49857	298498	237096	8.5%	51.0%	40.5%	1.24	2954	9601	-6647	-271	-342	71
67	2055	578533	48761	293654	236118	8.4%	50.8%	40.8%	1.24	2905	9608	-6703	-280	-338	58
68	2056	571550	47676	288626	235248	8.3%	50.5%	41.2%	1.24	2860	9617	-6757	-318	-356	38
69	2057	564475	46630	283566	234279	8.3%	50.2%	41.5%	1.24	2814	9657	-6843	-344	-374	30
70	2058	557288	45595	279111	232582	8.2%	50.1%	41.7%	1.24	2773	9683	-6910	-348	-364	16
71	2059	550030	44609	274307	231114	8.1%	49.9%	42.0%	1.24	2732	9710	-6978	-360	-360	0
72	2060	542692	43664	269528	229500	8.0%	49.7%	42.3%	1.24	2678	9744	-7066	-377	-359	-18

※水色の網掛けは最大値を示す。